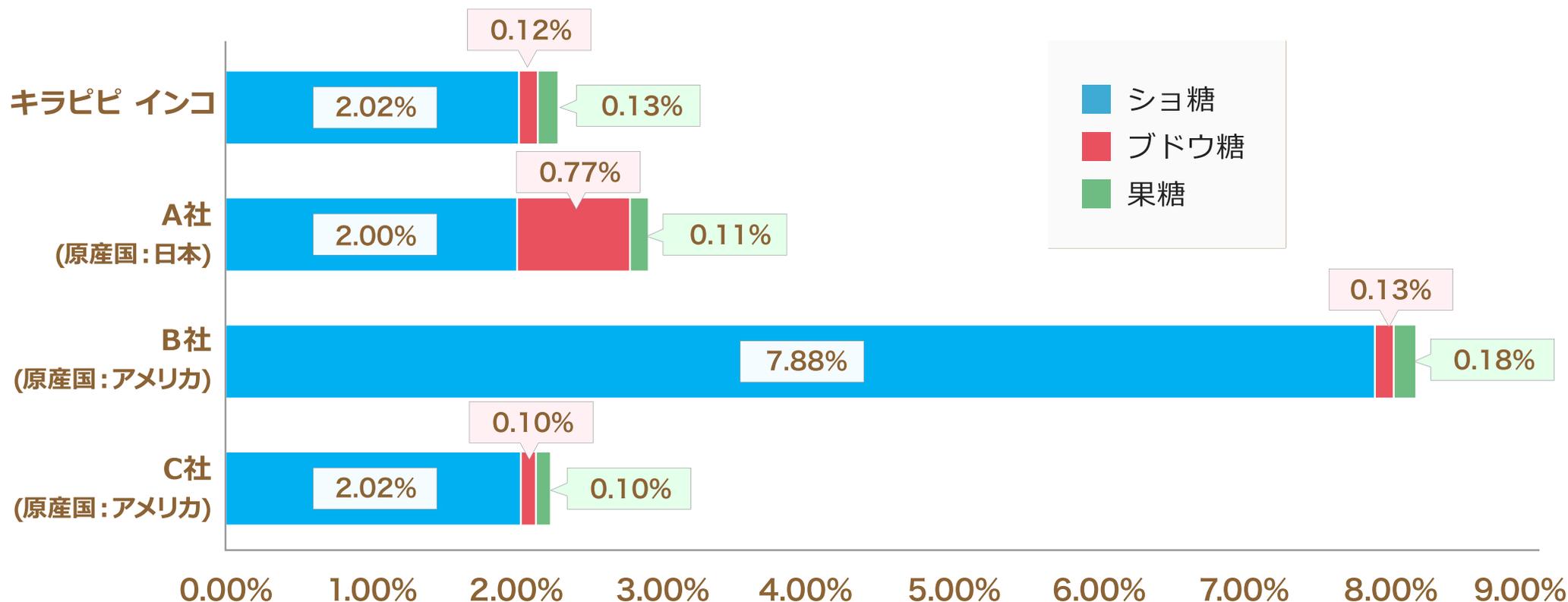


## 〔キラピピと他社ペレットの糖分比較〕

弊社は、小鳥にとって適度な糖分は健康に好影響があると考えています。

小鳥は野生下では糖分（ショ糖や果糖）を含んだ果実、とうもろこしなども食べています。砂糖（ショ糖）は体内でブドウ糖と果糖に分解され、即座に利用できる小鳥のエネルギー源になります。なかでもブドウ糖は、脳のエネルギー源となる唯一の栄養素でもあります。

下の表は、外部の分析機関にてキラピピと他社ペレットに含まれる糖分を分析した結果です。



分析の結果、キラピピに含まれる糖分は他社と比較しても特段多いということはありませんでした。

B社（原産国：アメリカ）の糖分はかなり高く、糖分の配合を重要視しているようです。

また、キラピピを与えた個体にそのう炎の悪玉菌が増える事例は確認されておらず、反対に機能性善玉菌「ひかり菌」のはたらきによって、そのう炎の原因菌となる悪玉菌の増殖を抑えることが期待できます。